

# 日商エレクトロニクス標準BPアセット リリースノートv1.4.0

---

日商エレクトロニクス株式会社

2022/01/24

# 目次

---

- ❖ 変更の概要
- ❖ 修正・追加ファイル
- ❖ 機能追加
- ❖ 不具合修正・その他
- ❖ カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法

## 変更の概要

- ❖ 新オブジェクト「NEO – MS Outlook」追加
- ❖ オブジェクト機能追加
- ❖ オブジェクト不具合修正
- ❖ その他オブジェクト設定の変更

## 修正・追加ファイル

フルパッケージをインポートせず、修正の入ったファイルのみをバージョンアップしたい場合は以下のxmlファイルを利用してください。

※今回のアップデートでは、ほとんどの汎用オブジェクトで実行モード設定が変更されています。これらを全て適用したい場合には「汎用オブジェクトパッケージ」をご利用ください。

- ❖ BPA Object – NEEX – MS Excel.xml
- ❖ BPA Object - NEEX - POP3\_SMTP.xml
- ❖ BPA Object - NEO - AutomateC.xml
- ❖ BPA Object - NEO - MS Outlook.xml
- ❖ BPA Object - NEO - カレンダー.xml
- ❖ BPA Object - NEO - ファイル.xml
- ❖ BPA Object - NEO - ワークキュー.xml

# 機能追加

## ❖ 新オブジェクト「NEO - MS Outlook」を追加

：「メッセージファイルの編集」「メッセージファイルから送信」アクションを実装しており、事前にメールをファイルとして保存しておくことで凝った形式のメールをRPAから作成できます。RPAから直接メールを送るのではなく、メールの下書きファイル作成までを行わせる用途にも便利です。

## ❖ NEEX - MS Excelに「Export As Fixed Format」追加

：ExcelをPDFやXPSとしてエクスポートします。エクスポート範囲設定などが可能です。

## ❖ NEO - ファイルに「ファイル移動（重複時リネーム）」追加

：ファイルを移動する際に名前の重複を自動的にチェックし、上書きしないような連番を付与します。

## ❖ NEO - ファイルに「フォルダ移動」追加

：フォルダとその中のファイルやサブフォルダをまとめて移動します。  
重複フォルダやファイルがあった場合の挙動も設定することができます。

## ❖ NEO - AutomateCの「ユーザー設定」アクションで「/sso」を指定できるように

：シングルサインオン（非マルチ認証）環境でもこのオブジェクトが使用可能になりました。

## 不具合修正・その他

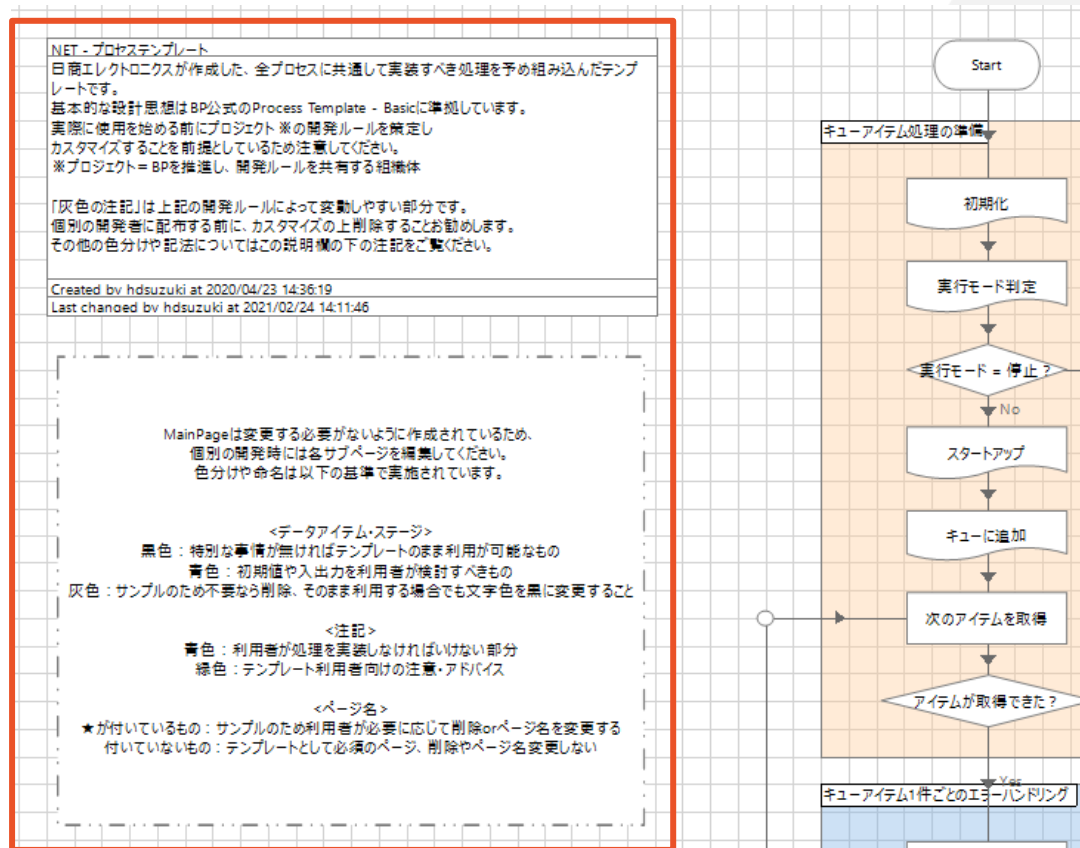
- ❖ NEO - カレンダー における例外タイプのスペルミス ( ) 修正  
: “Bussiness” になっている例外ステージがあったため正しい “Business” に修正
- ❖ 「NEEX - POP3/SMTP」の公式アクション「Disconnect POP3」アクションをプロセスに公開  
: 長時間動き続けるプロセスにおいて、POP3接続の明示的な解除が必要なケースがあることがわかり、プロセスからも呼び出せるように設定を変更しました。機能は変更されていません。
- ❖ ほとんどのオブジェクトの実行モードを「バックグラウンド」に設定  
: NEアセット内のオブジェクトはほとんどバックグラウンド実行可能でしたが、これまで一律で「排他的」に設定されていました。今回全てのオブジェクトを精査し、「NEEX - MS Excel」「NEO - 汎用エクセルフォーマット」「NET - 画面操作オブジェクトテンプレート」以外のオブジェクトについて「バックグラウンド」に設定を変更しています。

**V1.1.0以降からのアップデートの場合、  
V1.4.0のバージョンアップはインポートのみで完了です。**

**1.0.9以前からのアップデートの場合は、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.1.0の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。



①  
メインページを開き、  
説明欄(左上)の内容を  
新バージョンのものに更新

②  
その下の注記ステージ  
(MainPageは～)  
をコピーして貼り付け



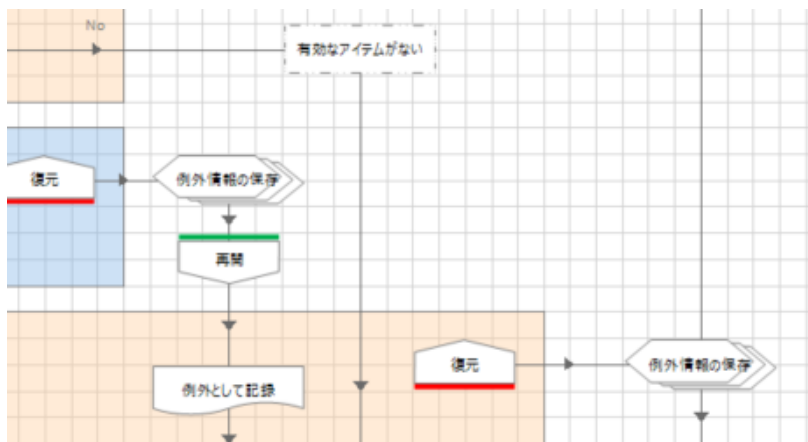
**V1.0.8以降からのアップデートの場合、  
V1.1.0のバージョンアップは以上で完了です。**

**V1.0.7以前からのアップデートの場合は、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ①「メインページ」の「例外情報の保存」ステージ(※2つあります)をそれぞれ開き、3行目に右図のようにExceptionStage()を[例外情報.ステージ]に代入する式を設定する



複数の計算のプロパティ

Name:

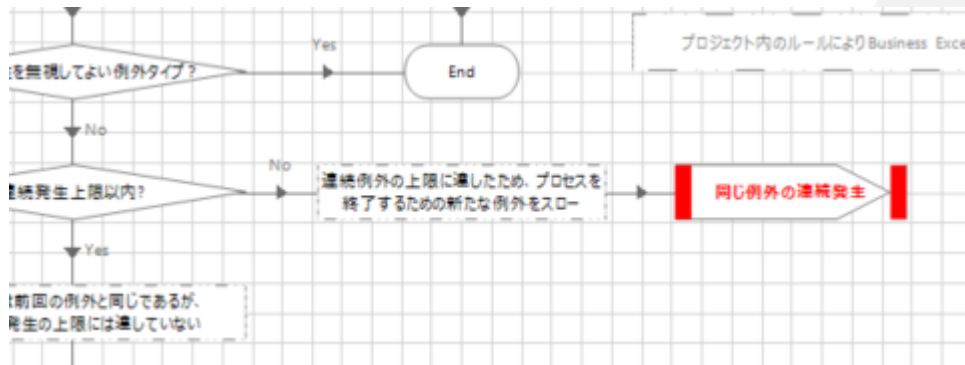
Description:

Expression	Store In
ExceptionType()	例外情報 タイプ
ExceptionDetail()	例外情報 詳細
ExceptionStage()	<input checked="" type="checkbox"/> 例外情報 ステージ

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

- ②「例外として記録」ページの「同じ例外の連続発生」例外ステージを開き、エラーメッセージを以下のように修正する

**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で " & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細: " & [例外情報.詳細]**



数式

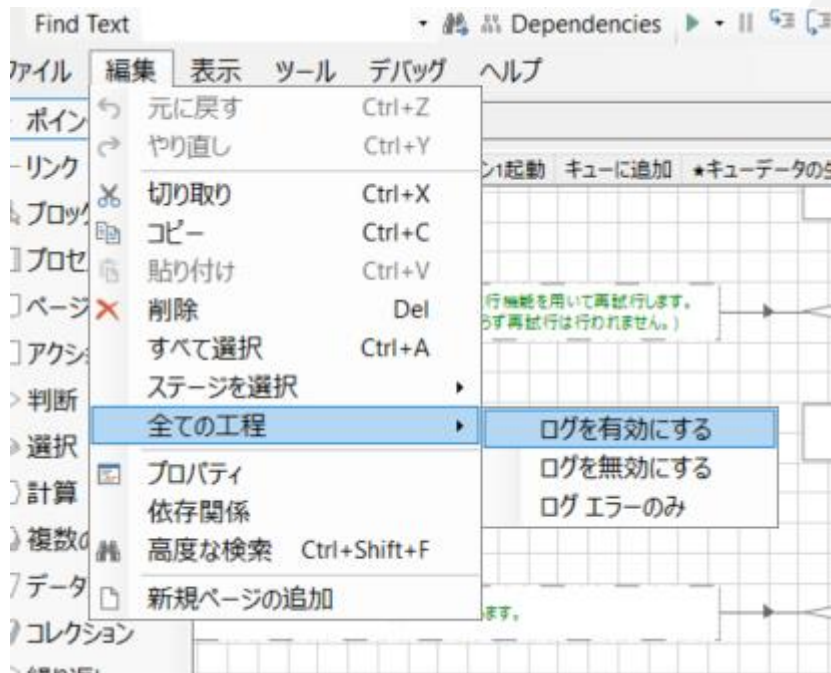
**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で " & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細: " & [例外情報.詳細]**

※連続で「前と同じ例外が起こったとき」発生する例外のため、上限回数+1アイテムがエラーとして記録されるのが想定される挙動です。

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

③左上メニューから「編集」>「全ての工程」>「ログを有効にする」を選択する

※プロジェクトのルールにより、プロセスでもログ出力するステージを限定している場合はそのルールに則って修正する形でも問題ありません。



**V1.0.7からのアップデートの場合、  
ここまででバージョンアップ対応は完了です。**

**V1.0.7を飛ばしてアップデートした場合、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法（v1.07の修正）

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ・「初期化」ページの「業務設定の読込」ステージを開き、「シート名」の入力値を「業務設定」に変更する

The screenshot shows the 'Initial Settings' page with the 'Import Business Settings' stage selected. The 'Sheet Name' field is highlighted, and its value is '業務設定'. Below the form is a table with the following data:

Name	Data Type	Value
ファイルパス	Text	[パス_業務フォルダ] & [相対パス_業務設定フ...
シート名	Text	"業務設定"
項目名のヘッダ文字列	Text	"項目名"
値のヘッダ文字列	Text	"値"
読込範囲(左上セル)	Text	"A1"
読込範囲(右下セル)	Text	"B1:000"

※設定ファイルの読込周りはプロジェクトごとにカスタムされることが多い部分ですので、既にこの部分がカスタムされていた場合には特に対応を行う必要はありません。